

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 36 号	氏名	岸本 真実
学位審査委員	主査 根本 孝幸 副査 林 善彦 副査 藤原 卓		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、歯周病原性細菌 <i>P. gingivalis</i> の保有する gingipain の病原性を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 gingipain の切断する自然免疫系活性化因子に関して、in vitro において調査しており、この種の研究成果を左右すると考えられる種々の標本選択バイアスを可能な限り除外するようにデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、種々の標本選択バイアスを可能な限り小さくしても、<i>P. gingivalis</i> の自然免疫からの逃避に gingipain が関与していることを明らかにし、今後の歯周病自然免疫学的研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は歯周病自然免疫学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			